



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『あなたは今日

わたしと一緒に楽園にいる』

聖書(ルカ福音書23章43節)

牧師 河合裕志

イエスが十字架につけられた時の話し。

イエスの両側にも十字架が立てられていた。それぞれに犯罪人がかけられて苦痛に顔をゆがめている。そのうちの一人が顔をイエスに向けののしって言った。「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ」。

もったもな言い分。メシア=救世主というならその位の力があるだろう。今こそその力を発揮する時ではないか。お前さんだっていい加減苦しそうだ。同じように苦しんでいる俺達を救ってくれてもいいじゃないか。どうなんだ、メシアよ。

肉体の痛みを耐えていたイエスにとってこの言葉はつらかった。それはサタンの誘惑にも思えた。かつてイエスが荒野で断食をしていた時サタンがやって来て「神の子ならこれらの石がパンになるように命じたらどうだ」と誘いをかけた。しかしイエスは乗らなかった。今の場合乗ったらどうなる。イエスは十字架の上に死なないことになり人類の罪の身代りは不成立に終る。

イエスはこのののしりの言葉にグッと耐えた。この時もう一人の犯罪人が相棒をたしなめて言った。「お前は神をも恐れぬのか、同じ刑罰を受けているのに。我々は自分のやったことの報いを受けているのだから当然だ。しかしこの方は何も悪いことをして

いない」。なかなかよくわかっている犯罪人。死罪判決、刑罰を当然の事と受けとめている。しかしこの方、イエスは罪のない人だと見ている。そして更に言葉を継いだ。「イエスよ、あなたの御国みくににおいでになるときには、わたしを思い出してください」。わたしのような憐れな人間、ボロ切れのような人間、生まれてこなかった方がよいようなこのわたしを覚えていてくれたら、思い出してくれたならこんな有難く嬉しいことはない、そうやって命の息の切れる寸前懇願した。

この言葉にイエスの心は動いた。『はっきり言うておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる』と声をかけた。この声に彼はフーと息をはき大安心のうちに目を閉じたことだろう。

楽園は元のギリシャ語ではパラダイス。そしてこのパラダイスは更にさかのぼればヘブライ語の「エデンの園」を訳したもの。いずれにしても楽しく平和に満ちたところ。それは天国とも呼ばれる。そこにイエス、父なる神、なつかしい人々がいる。日々何不自由なく痛みや悲しみはなく楽しく暮らしている。私達もいずれそこへ旅立って行く。なんという幸い。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時